

バレーボールで健康づくり

バレーボールの普及を図るとともに、スポーツを通して町民の健康づくりを図ろうと、12月7日（日）、町民バレーボールフェアが体育センターで開催されました。

行われた競技は、4人制で、通常のバレーボールよりも一回り大きなゴム製のボールと、低いネットとでバドミントンコートを使用するソフトバレーボール。レクリエーション性に富み、だれにでも楽しめるスポーツということで、職場の同僚や仲間同士で、経験者・未経験者も入り交り、19チーム100人が参加して熱戦を繰り広げていました。

大会の成績は次のとおり



△開会式で元気に宣誓する鶴田中学校2年番場友紀さん



△ソフトバレーボールではこんな変則アタックもあります

優勝 プーさん
第2位 梅沢STEP UP
第3位 LDH
鶴田2年A

スキーシーズン到来
富士見スキー場オープン

来る12月23日（火）午前10時、富士見スキー場がオープンします。

当日は、スキー場開き終了後、ナイターも含め無料開放します。なお、雪が少なく滑れない場合は、一日無料券を差し上げます。たくさんのご来場をお待ちしております。

◆問い合わせ先
教育委員会 社会教育班
（内線215）



つるに農事だより

みどりの会が町にリンゴを贈る

十一月十四日（金）、JAつがるにきた水元リンゴセンターで、みどりの会（浅利寿仁会長）の皆さんが、リンゴ三十二箱を町に贈りました。

浅利会長は「秋のひょうで、会員全員の園地が被害に遭い、出荷できるリンゴが少ない中、会員で協力し合い何とか三十二箱を確保しました。少しキズはあるものの、おいしさは抜群！子どもたちに鶴田のおいしいリンゴを食べて欲しい」と述べていました。

毎年みどりの会では、学校給食用にたくさんリンゴを町に贈っています。被害に遭われながらも大切なリンゴ贈ってくださったみどりの会の皆さんに心から感謝いたします。

児童・生徒の皆さん、給食にリンゴが出たら感謝して食べましょうね。



△リンゴを贈ってくださったみどりの会の皆さん

ひょう雪ドウ出発式



△生産者の方が自ら配送車にブドウを積み込み、見送りをしました

十一月十九日（水）、豊明館でコラボ産学官青森支部と青森県信用金庫協会が主催する「霜・雹害スチューベン出発式」が行われ、町関係者や生産者、出荷者の方々が集まり、販売されたブドウの出发を見送りました。

今回のブドウは、被害に遭われた農家の方を少しでも勇気づけ支援したいと、コラボ産学官青森支部と青森県信用金庫協会が、（南津軽ぶどう村（須郷貞次郎代表取締役）から購入した千五百ケース（二・五キロ入）。そのうち二百九十六ケースはコラボ産学官青森支部へ、八百九ケースは県内四つの信用金庫へそれぞれ配送されて行きました。